



令和4年6月30日
海上保安庁

令和4年安全功労者内閣総理大臣表彰について

海上安全指導員の伊藤 秀利（いとう ひでとし）氏が、その活動の功績により「国民安全の日」に係る安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。

伊藤氏は、昭和49年から現在に至るまでの47年間、海上安全活動を行うボランティアである「海上安全指導員」として、延べ587回（令和3年末現在）の安全パトロール活動や安全啓発活動等を精力的に行い、平成4年からは「主任海上安全指導員」として、他の海上安全指導員を指導するとともに、多くの海洋レジャー関係者に対する海難防止思想の普及・高揚に多大な貢献をされたことが認められたものです。

安全功労者内閣総理大臣表彰における海上安全指導員の受賞については、平成11年から連続しており、伊藤氏で24人目となります。

表彰式は、7月1日に総理大臣官邸大ホールで執り行われる予定です。

◆ 伊藤 秀利氏について

住 所 静岡県下田市
年 齢 82歳
海上安全指導員歴 (令和3年12月末現在)
昭和49年8月 海上安全指導員 指定
平成4年10月 主任海上安全指導員 指定
従事年数 47年
活動回数 安全指導及び訪船指導等587回

◆ 国民安全の日（7月1日）について

「国民安全の日」は、国民の一人一人がその生活のあらゆる面において、施設や行動の安全について反省を加え、その安全確保に留意し、これを習慣化する気運を高め、産業災害、交通事故、火災等国民の日常生活の安全をおびやかす災害の発生の防止をはかるために創設されたものです。

毎年、安全思想の普及徹底、安全水準の向上に顕著な功績のあった個人又は団体に対し、内閣総理大臣から安全功労者表彰が授与されています。

◆ 海上安全指導員について

海上安全指導員は、海上におけるプレジャーボートの安全を確保するために航行安全指導、海上安全講習会の実施及び海難防止思想普及等地域と密着して行うボランティアで、管区海上保安本部長の指定を受け、令和3年末現在、全国で1,490人が活動しています。

また、海上安全指導員はプレジャーボートの航行安全指導等を行う際、小型船舶（安全パトロール艇という。）を使用しており、令和3年末現在、全国で968隻が活動しています。

◆ 主任海上安全指導員について

海上安全指導員としての活動年数が10年以上であること、海上安全指導員としての活動実績が顕著であること等の要件を備えた海上安全指導員のうちから指名され、令和3年末現在、全国で121人が活動しています。